【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公開番号】特開2013-206458(P2013-206458A)
【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-055
【出願番号】特願2013-25318(P2013-25318)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/00　３５０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年12月2日(2015.12.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像内の物体を分類するための方法であって、
外観分類器を前記画像に適用するステップであって、前記物体の候補と、該候補と関連付けられた統計とを求め、前記外観分類器は一組の窓を用い、前記候補は選択された窓内にあるものと、
コンテキスト分類器を、前記画像の前記選択された窓にのみ適用して、前記画像内の前記物体の識別情報及びロケーションを求めるものと、
を含み、前記ステップはプロセッサにおいて実行され、
前記コンテキスト分類器は、物体コンテキスト特徴及びグローバルコンテキスト特徴を用い、
前記物体コンテキスト特徴は、前記候補のサイズを全ての候補のサイズの平均で除算したものと、スコアを平均スコアで除算したものと、該スコアを最大スコアで除算したものと、ロケーションを全ての候補の平均ロケーションで除算したものと、全ての他の候補からの平均距離を、候補ペアワイズ距離の平均で除算したものとを含む、前記候補間の相対情報を符号化する、
画像内の物体を分類するための方法。
【請求項２】
前記統計は、前記候補と関連付けられたロケーション、サイズ、スコアを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記外観分類器は、前記分類の誤検出誤り率を低減させる情報を出力する、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記外観分類器及び前記コンテキスト分類器は、前記物体の様々なクラスについてトレーニングされる、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記一組の窓は、複数のスケール、回転、及び平行移動用のものである、請求項１に記載の方法。
【請求項６】

前記グローバルコンテキスト特徴は、前記候補を含むシーン内の構造に関する情報を符号化する、請求項１に記載の方法。

【請求項７】

前記外観分類器及び前記コンテキスト分類器はサポートベクターマシンを用いる、請求項１に記載の方法。

【請求項８】

前記外観分類器は勾配のヒストグラムを用いる、請求項１に記載の方法。

【請求項９】

前記外観分類器はハールライク特徴を用いる、請求項１に記載の方法。